

パス作成の基本

愛知県がんセンター中央病院

福嶋敬子



クリニカルパス導入のステップ



パス作成にあたって

1. おさえるべきこと



- パスの効果
- アウトカム志向

2. いざ、クリニカルパス作成

- パスの種類
- 作成のポイント

パス作成にあたって

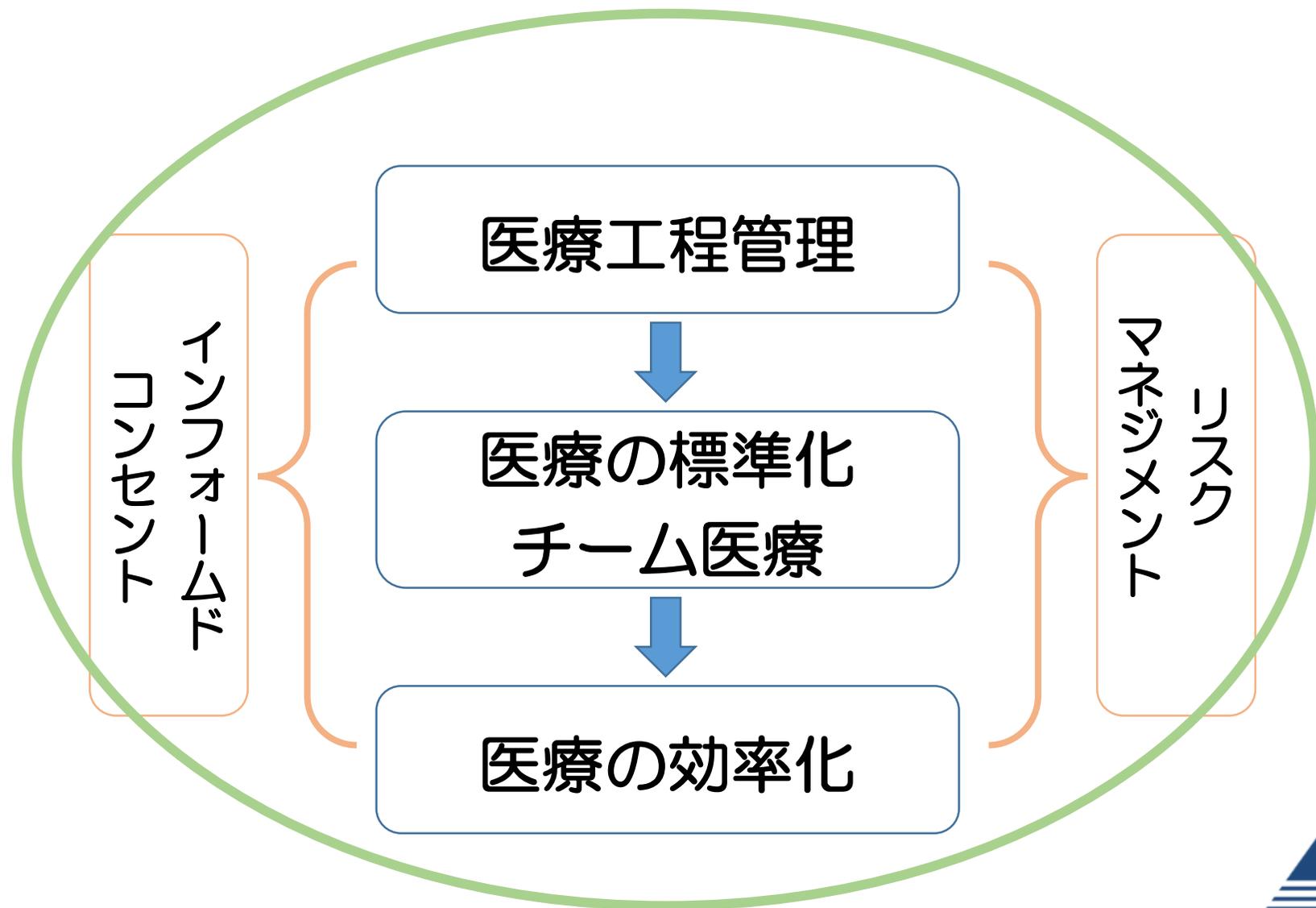
1. おさえるべきこと

- ・パスの効果
- ・アウトカム志向



パスの本質を理解しておくことが大切

パスの効果





■ □ ■ パスの効果 ■ □ ■



●パスのメリット 其の1

医療の標準化
チーム医療
医療の効率化

医療工程管理⇒患者への説明ツール

今まで不透明だった、医療工程を“見える化”

- 何をするのか（何をされるのか？）
- どれくらいの時間がかかるのか
- どんな状況(状態)になるのか



■ □ ■ パスの効果 ■ □ ■



●パスのメリット 其の2

医療の標準化⇒質保障

- ・日頃の業務をパス化するにあたって、業務整理と効率化が図られる。
- ・標準医療を提供することによる質保証
- ・「バリエーション」(variant) = 変種、変型を収集・分析することにより、質管理⇒質保証



■ □ ■ パスの効果 ■ □ ■



●パスのメリット 其の3

チーム医療促進等の効果

- ・パス化の過程での何度もの話し合い
⇒話し合いの過程でそれぞれの専門性を意識
⇒チーム内での機能分化と協同に対する
コンセンサス

- 標準医療を構築する過程で得られる
チームとしての意識



■ □ ■ パスの効果 ■ □ ■



- ・患者への説明ツール
 - ・医療の標準化・質保障
 - ・チーム医療促進
- を実現しながら

よりよい医療と
安全、安心を提供するための
目標管理ツール

クリニカ
標準が

システムとしてのパス

改善する

病院・システムの改善

質の向上

計画修正



バリアス分析

改善

評価

Act

Check

計画

Plan

Do

実行

アウトカム設定

質の保証

パス使用

バリアス対応

個別性の重視



アウトカム志向



【クリニカルパスとは】

「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏移（ずれ）を分析することで医療の質を改善する手法」

クリニカルパス概論より



アウトカムって？

アウトカム、辞書で引くと →「成果、結果」

- 「成果」 あることをして得られたよい結果
- 「結果」 ある原因や行為から生じた、結末や状態。
また、そのような状態が生じること。



アウトカム

望ましい成果、結果

あるべき状態

達成すべき状態



クリニカルパスでのアウトカム



望ましい成果
あるべき状態
達成すべき状態



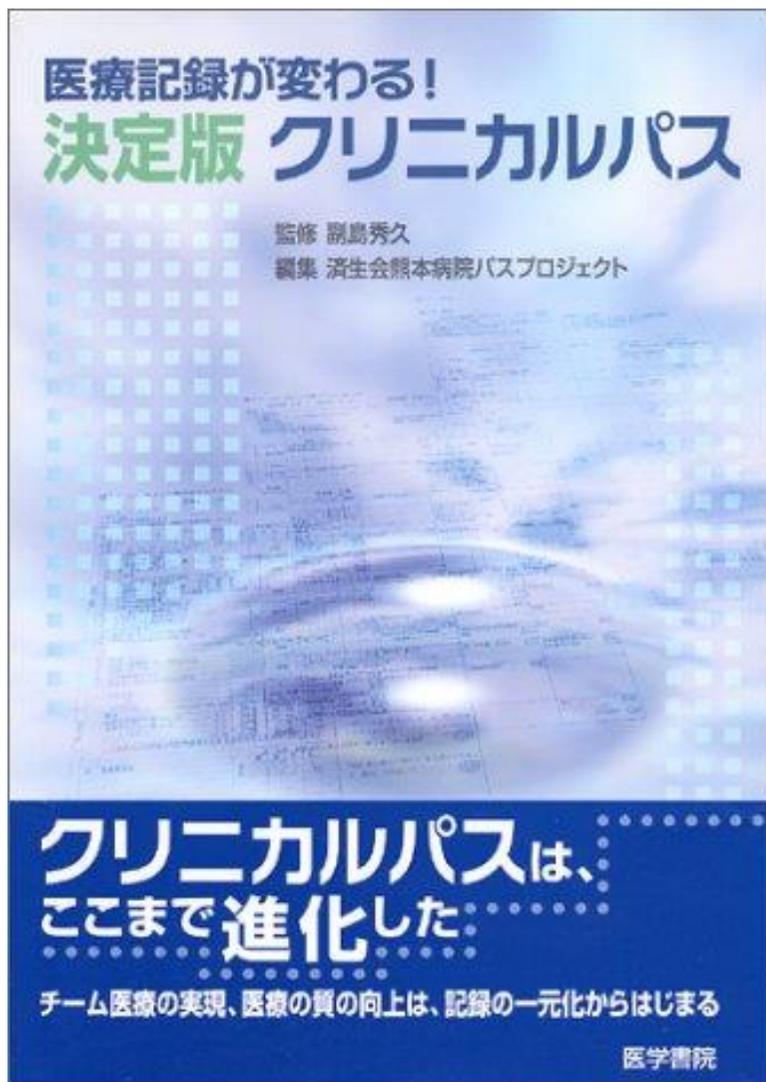
患者アウトカム



医療者アウトカム

「アウトカム」は「目標」と同義語





アウトカム志向パスを 始めて紹介した書籍

副島 秀久 (監修),
済生会熊本病院パスプロジェクト (編集)

クリニカルパス概論

—基礎から学ぶ教科書として

監修 日本クリニカルパス学会学術委員会



サイエンス・エディタース社



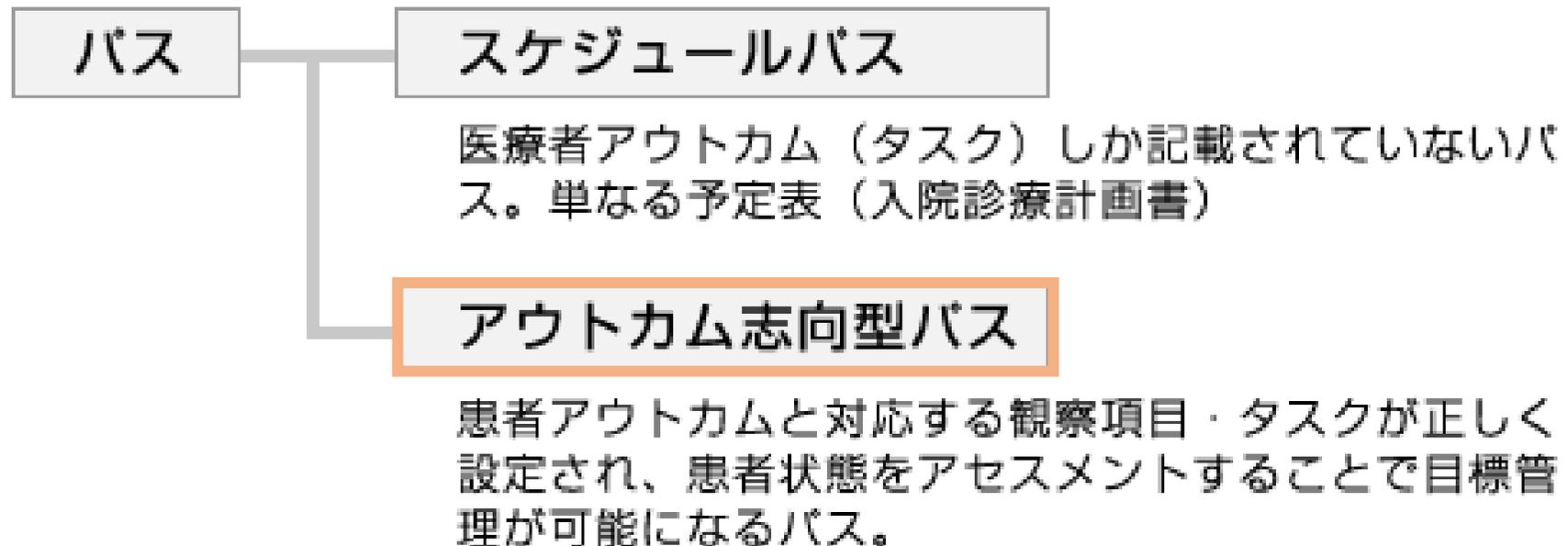
基礎から学ぶ教科書

クリニカルパス学術委員会 (監修)

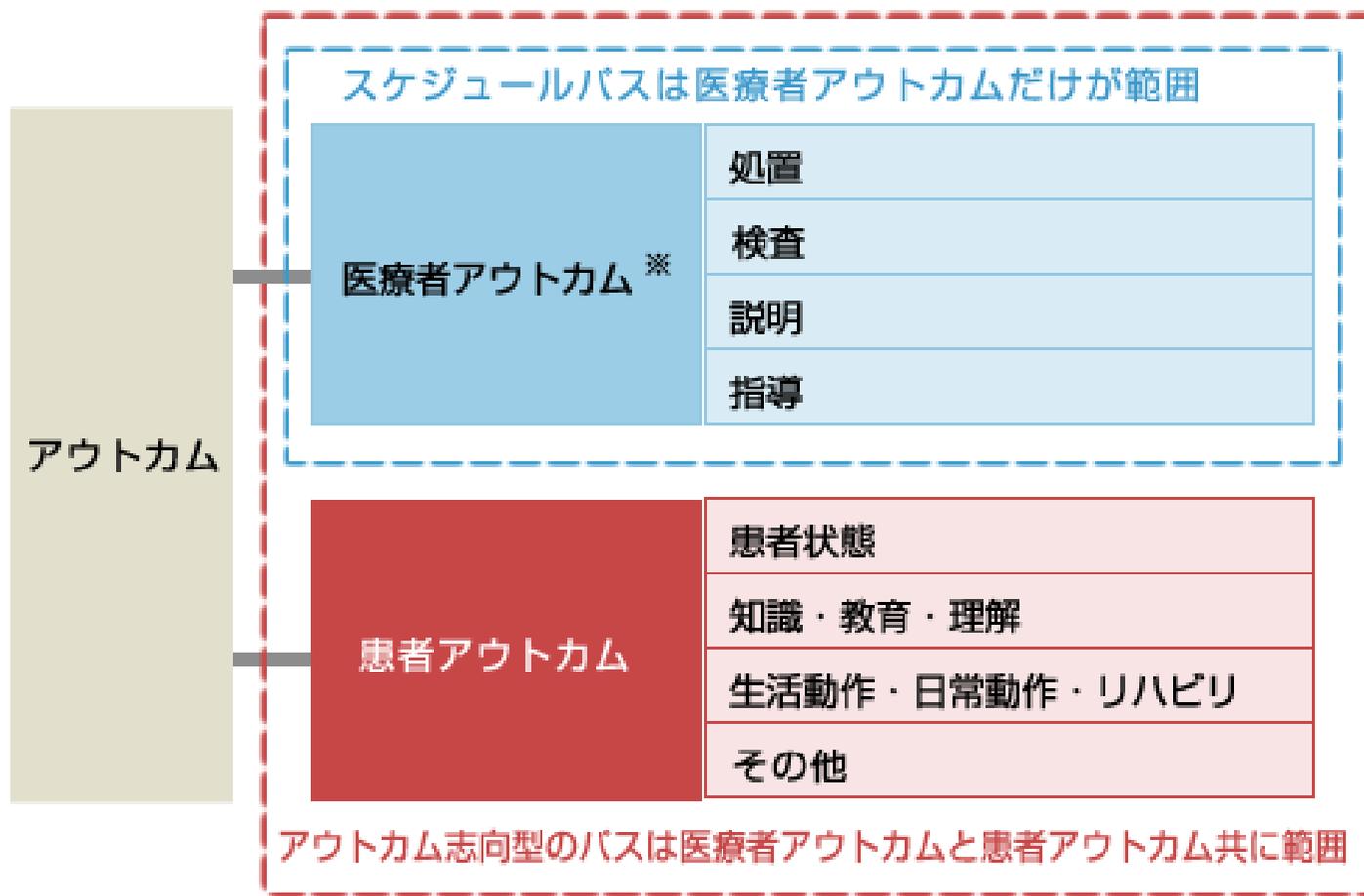


スケジュールパスとアウトカム志向型パス

現在運用されているパスは、大きくスケジュールパスとアウトカム志向型パスの2つに分けられます。



スケジュールパスとアウトカム志向型パス



アウトカムの分類



医療者は仕事をしたか??

医療者アウトカム

処置

ドレーン

点滴

検査

CT

採血

指導

退院時指導

説明

手術説明



アウトカム

患者アウトカム

患者状態

血圧

尿量

日常動作

歩行

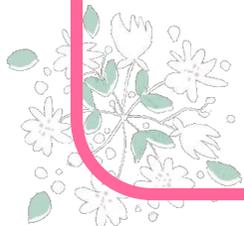
知識

注意事項

合併症

出血・感染

患者の状態がどうか?



アウトカム志向パス



POINTS!

➤ 目標を明確に設定

医療者・患者アウトカムの設定

➤ 目標をチームで共有

治療ケア・患者問題
の見える化

パスは質改善の為のツール

目標が**明確**に**設定**されている ことに意味がある！

アウトカム志向パス

目標を明確に示した標準医療計画

目標を明確に

計画の明確化

評価対象の明確化

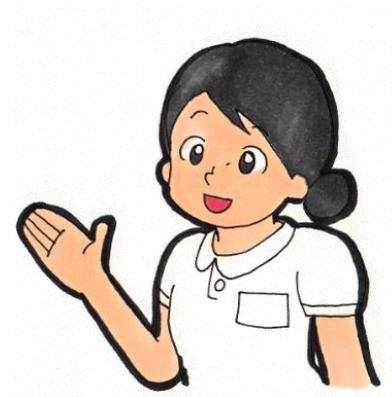
介入すべき問題の明確化

アウトカム志向パスを実施している

パス作成にあたって

.2. いざ、クリニカルパス作成

- パスの基本構造
- 作成のポイント





■ □ ■ パスの基本構造 ■ □ ■



- 医療者用パス：医療ケアの介入計画の確認と遂行状態チェック
目標とする患者状態確認
- 患者用パス：標準的な治療ケア計画をわかりやすく記したIFORM
ムド・コンセントのツール
※「入院診療計画書」の文書とすることも認められている。



■ □ ■ パスの基本構造 ■ □ ■



➤ オーバービューパス

横軸：時間軸

縦軸：達成目標（アウトカム） 介入項目（タスク）

どの日・どの時間にどのタスクを実行するのかという日程表
治療の全体経過（過去・未来）

※フェーズ式オーバービューパス形式もあり



■ □ ■ パスの基本構造 ■ □ ■



- 日めくりパス：オーバービューパスの1日分の内容を詳細にどの日・どの時間にどのタスクを実行するのかという日程表

多くの場合看護記録を兼ねており、記録と評価の役割
電子カルテベンダーによって表示方法が異なる



■ □ ■ パスの基本構造 ■ □ ■



- アルゴリズム（フローチャート・プロセスチャート）
： 治療経過をいくつかのケアステップにわけたもの

「どういう条件を満たせば、次のステップに移れる？」

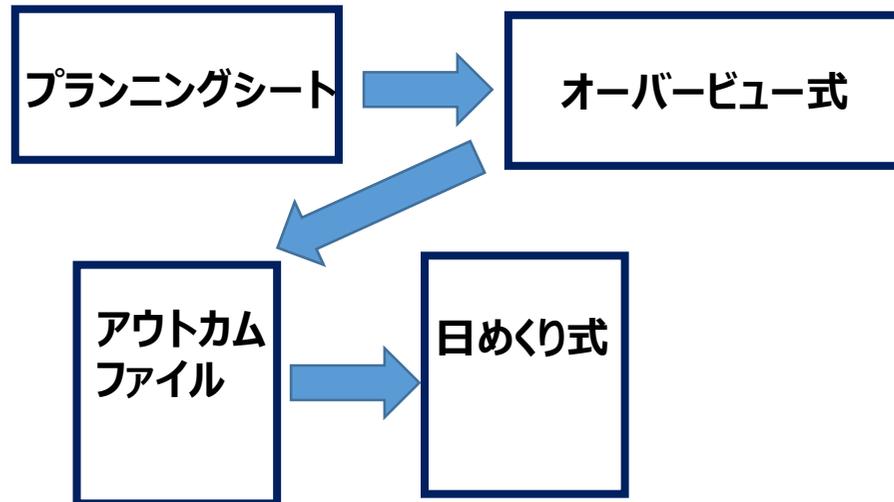




■ □ ■ パス作成のポイント ■ □ ■



➤ アウトライン



- 各職種が集まり企画会議を進めることが望ましい。
- 漠然としていては進まない
- 司会者の腕の見せ所

医療記録が変わる! 決定版クリニカルパス P49



各施設状況は様々。自施設にあった方法で進める。順番に捕らわれないこと。



■ □ ■ パスの基本構造 ■ □ ■



★クリティカルインディケーターって？

→「治療経過に重大な影響を与えるアウトカム」

このアウトカムを達成できないと治療成績や在院日数に大きく影響するもの
=治療行為（タスク）と患者状態の両者の指標を含む

医療記録が変わる!決定版クリニカルパス より

注意) クリニカルインディケーターとの違い

臨床指標を示す。診療の質を評価するための評価指標。





■ □ ■ パス作成のポイント ■ □ ■



➤作成するパスの**医師の存在**は必要不可欠！

一番頼りになる中心的医師 本丸を落とす

➤作業は、若手医師やパス担当医師。そしてパラメディカルを巻き込む。

➤パスはみんなで作るもの

出来上がりの共有 修正 ディスカッション

➤看護が見えるように

治療（Cure）に必要なCareを提供しているのが看護





■ □ ■ パス作成のポイント ■ □ ■



➤作成するパスの**医師の存在**は必要不可欠！

一番頼りになる中心的医師 本丸を落とす



□ **頭の中にあるアルゴリズムを引き出す**

□ **ブラックボックスをアウトカムという形で明らかに！**